

ニーズの整理表には
それぞれの項目に何を書くのか

ニーズの整理表

グループ

利用者名 徳島 太郎 さん

No	サービス等利用計画で整理された 解決すべき課題（本人のニーズ）	初期状態の評価 （利用者の状況・環境の状況）	支援者の気になること・推測できること （事例の強み・可能性）	願いや希望を満たすための具体的な到達目標
	本人が訴えたこと、希望したこと書く。 必要に応じて家族のニーズ・訴えも書く。 基本的には、サービス等利用計画の「解決すべき課題」をそのまま記入する。 サービス等利用計画や収集した本人の状況についてこれまでの記録から意向等ニーズに関する部分を拾っていく作業。	左記の解決すべき課題に対して、本人や取り巻く環境の状態はどうであったかを、記録の文章から拾っていく作業。 実際はどうであるのか、観察されたこと、確かめられたこと等、事実を書く。	左記の欄の内容に対して、その原因や理由を推測していく。 支援者として気になっていることも書く。 不安や心配なことより、こうしてみたら本人は喜ぶだろうかといった、ポジティブな推測も書く。 弱みを強みに考えるリフレーミングの意識をもつ。	左記の気になること・推測できることをもとに、どんなことが課題となってくるかを記入。 左記の欄に「こんなこともできるのではないか」「こう考えると、本人の意欲も増すのではないか」といった視点での記載があれば、「そのためには？」と考えてみる。